

大災害後のまちづくりで “大切にしたいこと”を みんなで考えました。

足立区都市復興シミュレーション 第3回を実施しました

〈対象地区〉



【出典：国土地理院ウェブサイト】

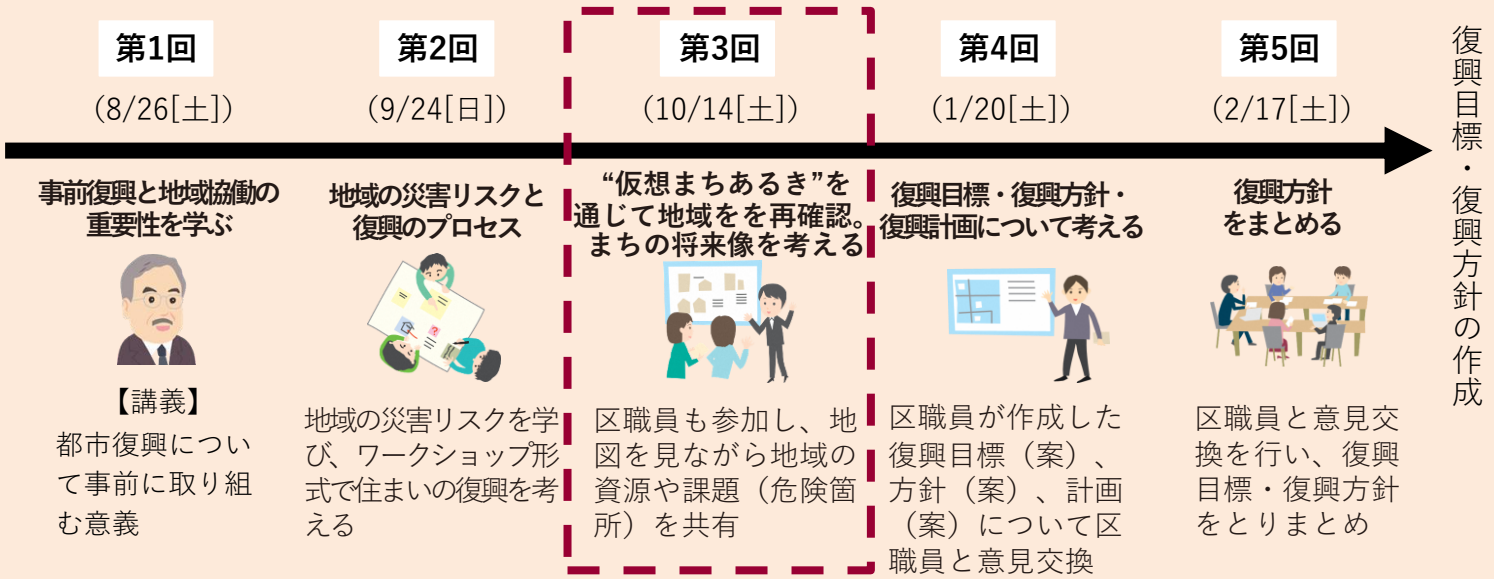
参加者が6グループに分かれて、インターネットを活用した「仮想まちあるき」を行い、まちの課題や将来像について話し合いました。

詳しくは裏面へ

5回のワークショップでこのまちの都市復興を考えます

途中からの参加大歓迎！

都市復興シミュレーション全5回の実施を通じて地域としての復興目標・復興方針を作成します。



10/14 第3回 足立区都市復興 シミュレーション から見えてきたこと

このまちには「災害後も残したい資源」があります

それぞれの地域で災害の後も残していきたい地域の資源と復興まちづくりの際に解決すべき課題を話し合いました。※一部を抜粋

残したい資源

千住公園や神社といった歴史・文化的な資源、小学校などの人が集まれる憩いの場を残したい。

医療福祉施設を残したい。

千住神社、千住中居町郵便局やNTTビルといった歴史的に価値ある建物を残していきたい。

お祭りなど地元の行事は、被災した後も引きついでいきたい。

銭湯や地域に根付いた企業を大切にしたい。

日頃から地域で活用している町会会館をこれからも活用していきたい。

今考えたい課題

水害の際に、逃げられる高い建物が地域内に少なく、収容できる人数にも限りが出てしまう。

水害の際には地域の備蓄倉庫が使えなくなる。

児童遊園が十分に活用されていない。道が狭く土地も狭い。高齢化の影響が空き家も増えている。

木造家屋やブロック塀が多く、地震の際の倒壊や火災が心配。

防災広場に向かう道が狭く、災害時たどり着けない可能性もある。

低層の戸建ての家が多く、地震や水害で多くの避難者が発生してしまう。

このまちに想定される甚大な被害。その後どうする？

次回は今回の意見をもとに、区職員が復興まちづくりの案を示します。

※一部を抜粋

地震に強いまち

既存のまちの課題だった、狭い道路の解消や公園の確保、余裕を持った街区により、地震や火災で二度と大きな被害を受けないまちをつくりたい。

便利なまち

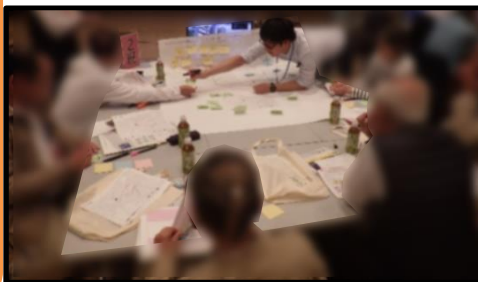
地域の商店やスーパーなどが再建し、被災後も日用品等が気軽に買える今と同じ住みやすいまちにしたい。

水害に強いまち

発災時に避難できる高層の建物の確保の他、スーパー堤防による地域全体のかさ上げを含めた大規模な改造による浸水しないまちづくりも必要。

つながりを大切にできるまち

町会会館や神社、小学校などの施設を拠点として、お祭りや地域のイベントを被災後も継続していきたい。



子どもから高齢者までみんなが過ごしやすいまち

保育園や小学校といった教育施設、病院や福祉施設が地域内に充実し、安心して住み続けられるまちにしたい。

途中参加について

途中参加も大歓迎です。お気軽にお問合せください。

お問い合わせ

足立区都市建設部都市建設課 上野・渡邊

TEL 03-3880-5280

メール tosikeikaku@city.adachi.tokyo.jp